

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスくれよん三山木		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 5月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 1日		～ 令和7年 7月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月 10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年、発達段階によりクラス分けを行い、近い年代の子ども同士でコミュニケーションを図れる環境を提供できる。また、個別の課題等も考慮しながらSST等、社会性を身に着けることが出来るプログラムを提供している。	集団療育のプログラムを提供しつつ、子ども一人一人の個性や特性に合わせた対応を心掛けています。子どもたちが楽しみながら主体性を持ち活動に取り組めるよう、飽きの来ない内容を日々、検討しています。	新しいプログラムの検討、導入を随時進めています。また、クラス、個人に合わせた活動が提供できるよう、事前のアセスメントを丁寧に実施する等、取り組んでいます。
2	訪問支援を組み合わせることで、地域の小中学校と連携できる。また相談支援事業所、短期入所事業所などを法人内に併設しており、幅広いニーズに応えることが可能。	保育所等訪問支援の活用を積極的に進めています。ご本人、保護者様のニーズに応じて実施していきます。個人情報の取り扱いに配慮しつつ、学校との連絡、連携を行っています。	地域の小中学校、行政、他機関との連携を深め、丁寧なやり取りを心掛けます。保護者様との連絡共有ができるようにしていきます。
3	就学、進路相談のほか、ご家庭の困りごと等の相談をお聞きしながら適宜助言をすることが出来る。また、関係機関、行政とも連携することが出来る。	定期的な面談のほか、随時、ご相談をお受けしております。進路、就労に関するご相談も他部署と連携し、助言等させていただきます。	面談時期や回数の調整を行います。気軽に相談できる関係づくりに引き続き取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足	定期的な活動報告が無い、SNSを現状活用していないことで、保護者様へ活動の内容やお子さまの様子が伝わりづらい状況が出ています。また、自主通所されるお子さまの日々の状況について、保護者様と連携が不足している点が挙げられます。	個人情報の取り扱いには十分に注意しつつ、ホームページやSNSでの情報発信を検討していきます。また、保護者様への連絡手段についても電話、FAX以外の手段をご利用いただけるよう、整備していきます。
2	活動スペースが十分に確保できない場合がある	定員が満員と言うこともあり、クラスによっては活動スペースが十分に確保できないことがあります。また個別の集中スペースやクールダウンスペースが確保できていない場合があります。	クラス編成の見直し、少人数グループ化による活動場所の調整等を日々行っています。パーティションなどを使用し、活動空間を仕切るなどの工夫を重ねていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスくれよん三山木

公表日 2025年4月15日

利用児童数

50

回収数

38

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34			4		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33			3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	1		5		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1		4		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	2	1	1	クッキングが好きなので実施はありがたい。	子供たちが意欲的に取り組めるよう、プログラムの工夫を重ねていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	6	17		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	2		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	1	15		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	4	1	2	回数が少ない。面談をもう少し増やしてほしい。	定期的な面談の他、日々のご相談にも対応させていただいています。面談のお申込みをしていただきやすい方法を検討し、実施してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	1	18		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3	1	9			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	2	14		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1		4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	2	16		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		20		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	3			SSTが苦手なので、おやつをいつもより多くするなど、特別感があればテンションが上がらそう。毎週楽しみにしている。他児からの他害に関するトラブルについて、対応していただければ落ち着いて通えている。	個別支援計画に沿いつつ、楽しみながら活動に取り組んでいただけるよう、工夫を重ねてまいります。また、怪我や事故の防止、事故後の対応など、安心して通っていただけるよう、環境調整、スタッフへの指導も徹底いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	2			時間が短く、子供が帰らないうちがある。	平日の限られた時間の活動になりますが、お子様、保護者様に満足いただけるよう創意工夫いたします。また、土曜日など活動時間が長い活動もありますので、ご相談ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童デイサービスくれよん三山木		2025年 8月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員は常に埋まっている状況ですが、グループごとに教室を分けるなど、子どもたちが落ち着いて活動できるように工夫しています。	クラスによっては教室が狭く、クールダウンスペースなどの確保が難しい場合があります。パーティションで仕切るなどの工夫を重ねてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員に対して手厚い人員配置を行っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		グループごとに教室を分けたり、児童用のトイレや、車いすでも利用可能なトイレ、浴室を設置しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、職員が活動前後で清掃を実施しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンや個別での取り出しが可能な部屋を設置しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングや、月に一回のスタッフ研修を実施しております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価は受けておりませんが、法人内で順次、受けていくよう準備中です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修の案内、部署内でのスタッフ研修を実施しています。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成には児童発達管理責任者だけではなく、個々のスタッフも参画し、複数人の視点から計画を作成できるよう工夫し提案す。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は集団療育としてプログラムを実施しておりそれに向けた計画を作成しています。日々の活動の中で個別設定や取り出しを行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		高学年、中学生に関してはより自主性を持つよう、話し合いや協力、相談する場面を多く設定しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問支援の実施、相談支援事業所、学校、行政と必要に応じて連携、共有しています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		原則、保護者を通じて学校の状況などはお聞きしています。ご依頼があった場合のみ直接学校とやり取りし、情報共有を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ご依頼いただいた場合、連絡シートを作成しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後、必要に応じて関係機関と連携を取って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人内より職員が自立支援協議会メンバーとして参画しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎やお迎え時に保護者様とお子さまの状況について共有させていただいております。	個別の面談回数が少ないとのご指摘を頂いております。面談回数を増やしていけるよう調整してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人内療育部主催の研修やセミナーへの案内をさせていただいております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	毎月の予定の外、ホームページで活動の発信を行っております。行事の際には別途お知らせを発行しております。	今後、ホームページの充実、SNSの活用を個人情報の観点を重視しつつ、発信方法の検討を進めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	保護後者様、ご本人様にわかりやすいよう、必要に応じてプリントや画像、PowerPointでの提示を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、そのような機会を持つことが出来ておりませんが、地域住民の方への説明、ご理解を頂く努力を重ねてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	事故発生時対応マニュアルの作成しております。また、マニュアル等の職員の周知も行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	年に2回の避難訓練を実施しております。また法人内でBCPの作成を進めており、備蓄品の準備も進めております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	年に1回、社外研修への参加、社内研修の実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○			